標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
					盛土	茶褐～灰			層上位は砂混じり粘性土を主体とし、φ5～100mm大の礫やコンクリート片の混入が観られる。含水・粘性共に中位である。 GL-1.00m付近より4.60m付近までコンクリートが連続し棒状コアーにて採取成る。 GL-2.15mの貫入試験採取試料に結束線混入。 GL-4.60m以深、非常に緩い状態の粘性土となる。
	-5.30	5.35	5.35		細砂	茶褐～灰			シルトを帯びやや粘性の強い状態の細砂である。φ10～30mm大の円礫を混入する。
	-5.55	0.25	5.60		粗砂	褐			φ10～50mm大の礫を30%程度混入する粗砂である。層全体に含水が高く、緩い状態で崩壊性が高い状態である。
	-8.50	2.95	8.55		砂礫	褐			φ2～3mm大の細礫を主体とし、φ10～150mm大の礫及び玉石の混入が観られる。 不均一な間隔で薄層状に粘土の混入が観られる。 層全体に崩壊性が高くGL-11.00mまでケーシングチューブを挿入。
	-12.85	4.35	12.90		礫混じり細砂	暗灰・褐			全体に含水が高く、中～高位の粘性を帯びる細砂である。有機物（木片）及び貝殻片の混入が観られる。 少量であるがシルトの混入が観られ、また、不均一な間隔で砂礫を極僅かに混入する。
	-15.20	2.35	15.25		シルト質細砂	暗褐			粒径の均質な細砂に薄層状のシルト及び有機物（木片）・貝殻片を混入する。中位の含水を帯び、深度を増すに従い強い粘性となる。
	-18.25	3.05	18.30		礫混じり粗砂	暗灰			粗砂を主体とし、φ5～30mm程度の円礫を混入し、少量であるもののφ10mm大の角礫を混入する。 少量の粘性土を混入する。
	-21.45	3.20	21.50						GL-21m付近で有機物（木片）を多量に混入する。
	-22.90	1.45	22.95		砂礫	暗灰			φ3～5mm大（φmax80mm）の細礫を主体とし礫間に粗砂を密に混入する。
	-24.65	1.75	24.70		中砂	暗灰～暗褐			φ5～10mm程度の円礫及びブロック状のシルトが混入する中砂を主体とする。 層上位では高含水であり深度を増すに従い含水は中位となる。
	-25.00	0.35	25.05		砂礫	暗灰			φ3～5mm大の細礫を主体とし、φ100mm大の転石状を成す巨礫の混入が観られる。 層全体に礫間に砂及び粘性土が混入する。
	-29.05	4.05	29.10		中砂	暗灰			砂粒子の不均一な砂層であり、中砂が主体を成す。 φ3～10mm大の礫の混入し、僅かにシルトの混入も観られる。
	-29.85	0.80	29.90		シルト質細砂	暗灰			層全体にシルトの粘性を帯びた状態の細砂であり、中位の粘性を有し高含水である。 深度を増すに従い含水が増す。
	-31.70	1.85	31.75		中砂	暗灰			砂粒子の不均一な砂層であり、中砂が主体を成す。 φ3～10mm大の礫の混入し、僅かにシルトの混入も観られる。
	-32.20	0.50	32.25		細砂	暗灰			均質な細砂を主体とし、中位の含水で層全体に中位の粘性を帯びる。
	-32.45	0.25	32.50		中砂	暗褐			φ2～5mm大の細礫を極少量混入する。
	-33.50	1.05	33.55		細砂	暗灰			砂粒子は細粒であり全体にシルトを帯びた状態である。 含水が低く、固結した箇所が観られる。有機物（木片）の混入を確認する。
	-33.80	0.30	33.85		砂質シルト	暗褐			均質な細砂を主体とし、中位の含水で層全体に中位の粘性を帯びる。
	-34.00	0.20	34.05		細砂	暗灰			φ2～5mm大の細礫を極少量混入する。
	-34.45	0.45	34.50		中砂	暗青灰			層全体に砂質を帯びた状態のシルトであり、低含水で中位の粘性である。 所々で固結した状態を呈す。
									均質で細粒の砂層であり、φ5～20mm大の円礫が極少量混入する。 含水・粘性共に中位である。
									砂粒子の不均一な中砂であり、φ3～10mmの円礫及び角礫を少量混入する。深度を増すに従い礫径が増し最大50mm程度となる。 層全体に高含水となる。
	-39.95	5.50	40.00		砂礫	暗灰			φ50～100mm大の礫を主体に、礫間に中～粗砂を密に混入し僅かに粘性を含む。 GL-36.70m以深でφ400mm大の玉石の混入が観られ棒状コアーにて採取成る。

粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
	5/31
	1.95▽

標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量
1.10～1.40	17	10	22	49/30
2.15～2.45	5	3	2	10/30
3.00～	貫入不能			50/0
4.00～	貫入不能			50/0
5.15～5.45	5	3	1	9/30
6.15～6.45	3	3	3	9/30
7.15～7.45	5	5	5	15/30
8.15～8.45	1	2	1	4/30
9.15～9.45	20	12	13	45/30
10.15～10.43	18	16	16	50/28
11.00～	貫入不能			50/0
12.15～12.43	14	19	17	50/28
13.15～13.45	7	8	8	23/30
14.15～14.45	8	6	6	20/30
15.15～15.45	3	2	2	7/30
16.15～16.45	3	2	2	7/30
17.15～17.45	2	2	2	6/30
18.15～18.45	2	5	5	12/30
19.15～19.45	4	5	6	15/30
20.15～20.45	3	3	5	11/30
21.15～21.45	3	5	2	10/30
22.15～22.45	17	13	15	45/30
23.15～23.45	5	4	5	14/30
24.15～24.45	3	2	2	7/30
25.15～	貫入不能			50/0
26.15～26.45	4	3	3	10/30
27.15～27.45	3	3	3	9/30
28.15～28.45	5	4	4	13/30
29.15～29.45	4	4	4	12/30
30.15～30.45	7	6	7	20/30
31.15～31.45	5	5	6	16/30
32.15～32.45	4	2	2	8/30
33.15～33.45	4	4	3	11/30
34.15～34.45	5	7	8	20/30
35.15～35.45	19	10	21	50/30
36.00～	貫入不能			50/0
37.00～	貫入不能			50/0
38.00～38.07	50/7			50/7
39.00～	貫入不能			50/0
40.00～	貫入不能			50/0

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度 m	試験名及び結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験

掘進月日
5/26
5/27
5/28
5/29
5/30
5/31
6/1
6/2